

光風会100回展記念 PDF版102年史

初版／2013.4.24
第2版／2014.5. 3
第3版／2014.8.10

光風会は白馬会解散後、明治45年(1912年)に中澤弘光、山本森之助、三宅克己、杉浦非水、岡野 榮、小林鍾吉、跡見 泰の7人によって設立されました。

明治45年6月、第1回展を上野竹之台陳列館において開催し、以後、会場等の事情により3回の休会を除き、毎年公募展を開催。昭和15年(1940年)工芸部を設立。昭和31年(1956年)2月、公募団体としてはじめて、社団法人光風美術会が認可されました。

平成19年(2007年)に国立新美術館に会場を移し、平成26年(2014年)には第100回記念展が盛会場に開催されました。

光風会100回展の歴史

The history of 100th 'kofu-kai' exhibition
and the chronology of 102 years

光風会は
2014年
100回
記念展



※表紙含め全23枚(A4ヨコ)

表紙写真／上野公園竹之台陳列館で開催の第13回光風會展覧會

本PDFデータの画像及び原稿の著作権は、一般社団法人光風会に帰属します。掲載データの無断使用・転用、再配布は禁止します。

1912

(明治45年・大正元年)

第1回展

6/9～6/29 上野公園 竹之台陳列館

389点

今村奨励賞_谷山 巖、森脇 忠、大野隆徳、瀬野覚蔵、富田温一郎、近藤芳男、進藤吾一、相田寅彦(直彦)、小林真二、新井 完

- 旧白馬会の主力メンバー7名により新しい展覧会「光風会」創設

- 「光風会設立趣意書」を発起人7名の連名で公表

- 出品目録には価格が付記される

- 米田虎雄侍従が来場され、作品22点御買上となる

中澤弘光

山本森之助

三宅克己

岡野 栄

小林鍾吉(鍾吉)

跡見 泰

川端絵画研究所(改称)

本郷洋画研究所

杉浦非水

- 杉浦非水が展覧会ポスター等をデザインする

岡田三郎助と藤島武二、本郷洋画研究所開設

中華民国成立
明治天皇崩御、「大正」と改元

第2回東京勸業展覧会開催
(上野池之端)

第6回文展開催
(上野公園 竹之台陳列館)

1913

(大正2年)

第2回展

(1周年)

2/20～3/20 上野公園 竹之台陳列館

425点

今村奨励賞_牧野虎雄、熊岡美彦、大久保喜一

- 一般からの搬入は1,300点にのぼる(南 薫造、児島虎次郎、熊岡美彦、石井柏亭、高間惣七、神津港人、大久保作次郎、牧野虎雄、多々羅義雄、竹久夢二、永瀬義郎らが出品)

- 黒田清輝、藤島武二、長原孝太郎、湯浅一郎、有島(壬)生馬、三宅克己、杉浦非水、小林鍾吉(鍾吉)が審査にあたる

- 侍従が来場され、作品17点御買上となる

米価高騰

国民美術協会創立

第1回国民美術協会展開催

石井柏亭ら日本水彩画会創立

川端絵画研究所(改称)に洋画部新設

1914

(大正3年)

第3回展

(2周年)

10/5～10/31 上野公園 竹之台陳列館

424点

今村奨励賞_高間惣七、坪井玄治、牧野虎雄、小寺健吉、小林真二、寺田季一、森山 肇

- 岡田三郎助、和田栄作、藤島武二、長原孝太郎、石井柏亭、有島(壬)生馬および全会員が審査にあたる

- 侍従が来場され、作品15点御買上となる

第1次世界大戦勃発

文部省、文展第一部(日本画)二科制廃止

文展から分離し、石井柏亭、有島生馬ら二科会結成、第1回二科展開催

横山大観ら日本美術院再興

第1回日本美術院展覧会(院展)開催

1915

(大正4年)

※開催せず

(3周年)

- 竹之台陳列館の会場を国民美術協会に好意的に譲ったため、この年の展覧会は休催する

東京株式市場暴騰(大戦景気)

「中央美術」創刊

1916

(大正5年)

第4回展

(4周年)

2/17～3/15 上野公園 竹之台陳列館

169点

今村奨励賞_相馬其一、清原重以知、後藤工志、木内武雄、耳野卯三郎

- 事務所を、東京市赤坂区青山南町3丁目 岡野 栄方に移す

- 光風会第4回展を国民美術協会第4回展と聯合展覧会として開催(光風会は第12室から第14室までを使用)

- 侍従が来場され、作品15点御買上となる

株式市場大暴落

ラファエル・コラン歿

日本版画倶楽部結成

1917

(大正6年)

第5回展

(5周年)

2/1～2/27 上野公園 竹之台陳列館

354点(ラファエル・コラン遺作陳列は含めず)

今村奨励賞_河井清一、梶原貫五、赤城泰舒、後藤工志、北島浅一

●コラン遺作陳列室「コラン先生追慕遺作展覧会」設置(油絵、デッサン、写真など55点を陳列)

●ラファエル・コランの遺族に100フランを送る

補ノラファエル・コランは黒田清輝、久米桂一郎がフランス留学時に師事した外光派の画家

ロシア、2月革命
エドガー・ドガ歿
オーギュスト・ロダン歿

1918

(大正7年)

第6回展

(6周年)

2/1～2/27 上野公園 竹之台陳列館

86 366点

今村奨励賞_熊岡美彦、鈴木良治、牧野司郎、望月省三、野田 明

第1次世界大戦終結
米価大暴騰

京都在住の日本画家による国画創作協会創立
山本 鼎、織田一麿ら日本創作版画協会創立
グスタフ・クリムト歿

1919

(大正8年)

第7回展

(7周年)

3/7～3/30 上野公園 竹之台陳列館

110 279点

今村奨励賞_熊岡美彦、森山 肇、曾宮一念、吉田 豊、寺田季一

●黒田清輝、岡田三郎助、和田英作が帝国美術院会員となる

パリ講和会議開催
パウハウス開校
若手洋画家による新光洋画会創立
帝国美術院創設
第1回帝展開催
(上野公園 竹之台陳列館)
ルノワール歿

1920

(大正9年)

第8回展

(8周年)

5/2～5/24 上野公園 竹之台陳列館

91 169点

今村奨励賞_森山 肇、河上左京

国際連盟発足
株価暴落(世界恐慌)
上野公園で日本最初のメーデー開催
第1回新光洋画会開催
普門 暁ら未来派美術協会結成

1921

(大正10年)

第9回展

(9周年)

3/1～3/24 上野公園 竹之台陳列館

資料不明 158点

今村奨励賞_水木伸一、平沢大障、曾宮一念、鈴木 誠

ワシントン会議開催
日本南画院創立
本郷洋画研究所有志による赤洵社結成

1922

(大正11年)

※開催せず

(10周年)

- 平和記念東京博覧会(東京府主催)と会期が重複したため休催する
- この頃より渡欧者が増加する

フランク・ロイド・ライト設計の帝国ホテル竣工
ソビエト社会主義共和国連邦成立
小林未醒、梅原龍三郎ら春陽会創立
平和記念東京博覧会開催
古賀春江らアクション結成
寺内 萬次郎、中村不折ら金塔社結成

1923

(大正12年)

第10回展

(11周年)

2/1～2/27 上野公園 竹之台陳列館

90 223点(特別陳列の点数不明)

今村奨励賞_松村健三郎、橋本徹太郎、曾宮一念、不破 章

- 今村繁三、友野欽一所蔵のフランス近代画(ヴラマンク「顔」等)を特別陳列

サンサシオン自由洋画研究所(改称)
●本郷絵画研究所(改称)

関東大震災発生
本郷洋画研究所、震災で焼失
村山知義らマヴォ結成
鬼頭鍋三郎、松下春雄らサンサシオン結成、第1回展開催
(名古屋・中央バザー栄ホール)

1924

(大正13年)

第11回展

(12周年)

5/23～6/7 上野公園 竹之台陳列館

[巡回展] 名古屋

資料不明 289点(特別陳列は含めず)

今村奨励賞_北島浅一、宮部 進、尾崎三郎

- 事務所を東京都外下渋谷伊達跡1806番地、辻 永方に移転
- 大原孫三郎所蔵の2点、ジョヴァンニ・セガンティーニ「アルプスの真昼」とポール・ゴーギャン「楽土」を特別陳列
- 初めて地方展(名古屋展 3/8～3/12)／名古屋商業会議所で一般公募を行う(出品点数約100点、売約242,650円)

- 白日会創立に、中澤弘光、小寺健吉、相馬其一、辻 永、南 薫造が創立会員として参加
- 会員 黒田清輝歿

中澤弘光ら白日会創立、第1回展開催(日本橋 三越)
熊野虎雄ら塊樹社結成
サンサシオン自由洋画研究所開設
アクション解散
本郷絵画研究所(改称)再建
黒田清輝遺作展開催(東京美術学校倶楽部)
杉浦非水ら、創作図案研究団体「七人社」結成

1925

(大正14年)

第12回展

(13周年)

2/1～2/27 上野公園 竹之台陳列館

175 328点(黒木伯爵家蒐集特別陳列は含めず)

光風賞_岩井弥一郎、石原長光、河井清一、中西利雄、福田新生

- 黒木三次伯爵家蒐集の作品32点(モネ4点、ピカソ2点、ドニ2点、ボナール5点等)を特別陳列
- 田辺 至の滞欧作50点を陳列(この頃、滞欧者・渡欧者による滞欧作出品が増える)
- この頃より岡田三郎助、和田英作が賛助出品
- 熊岡美彦、第1回帝国美術院賞受賞

●本郷絵画展

治安維持法公布
普通選挙法公布
新光洋画会解散
赤洵社解散、所員全員が本郷絵画展開催

1926

(大正15年・昭和元年)

第13回展

(14周年)

2/24～3/21 上野公園 竹之台陳列館

※会期終了後解体

125 298点(特別陳列は含めず)

光風賞_佐分 真、河井清一、新道 繁、福田新生、堀越英之助

- 事務所を東京都外大久保百人町263番地、南 薫造方に移転
- 松方幸次郎所蔵の作品12点(ゴッホ、セザンヌ、ゴーギャン、ルノワール等)を特別陳列
- この頃より藤島武二が賛助出品

大正天皇崩御、「昭和」と改元
日本放送協会(NHK)創立
矢部友衛ら造型結成
国画創作協会、第二部(洋画)新設
東京府美術館開館
前田寛治ら1930年協会創立
七人社、第1回創作ポスター展開催
(日本橋 三越呉服店)

1927

(昭和2年)

第14回展

(15周年)

2/28～3/5 上野公園 東京府美術館

3 111 272点(特別陳列は含めず)

光風賞_無縁寺心澄、福田新生、佐藤 章、鬼頭鍋三郎、新道 繁

- 橋本關雪所蔵の「印度波斯のミニアチュール」65点(インド35点、ペルシャ30点)を特別陳列
- 会友制度を新設

金融恐慌発生

東京府美術館開館

武者小路実篤ら大調和展第1回展開催

杉浦非水、ポスター研究雑誌「アフィッシュ」を創刊

1928

(昭和3年)

第15回展

(16周年)

3/15～3/30 上野公園 東京府美術館

125 25 312点(特別陳列は含めず)

光風賞_大沢海蔵、緒方亮平、遠山 清、山喜多二郎太、島野重之

- 各国の裂地94点、版画(松方幸次郎所蔵品、帝室博物館、東京美術学校等の借用)206点を2部構成で特別陳列
- 懇親会を玉川京王閣で開催
- 一般からの搬入は1,416点にのぼる(豊光、棟方志功らが入選)

満州で張作霖爆殺事件

三越呉服店、三越と改称

本郷絵画展、「本郷美術展」と改称

国画創作協会第2部(洋画)は国画会として存続

この頃、洋画家の渡欧・帰国相次ぐ

1929

(昭和4年)

第16回展

(17周年)

2/3～2/20 上野公園 東京府美術館

資料不明 422点(特別陳列は含めず)

光風賞_猪熊玄一郎(弦一郎)、花巖 巖、内田 巖、小山良修、安達真太郎

- 故山本森之助遺作106点と欧州名画の模写(黒田清輝、藤島武二、和田英作ら)及び複製コレクション約300点を特別陳列
- 本年度よりレートン賞新設
- 光風会・サンサシオン合同展開催(5/4～5/12 名古屋 鶴舞公園美術館)
- 南 薫造、帝国美術院会員となる

ニューヨーク株式大暴落

(世界経済恐慌)

山本森之助遺作展開催(大阪三越)

児島虎次郎歿

青山熊治、片多徳郎ら第一美術協会創立

帝国美術学校(現／武蔵野美術大学)開校

1930

(昭和5年)

第17回展

(18周年)

2/1～2/15 上野公園 東京府美術館

25 104 450点(特別陳列は含めず)

光風賞_安達真太郎、白川一郎、緒方亮平、花巖 巖

- 「復興の東京」をテーマの描いた会員作品66点を特別陳列
- 中澤弘光、帝国美術院会員となる
- 中村研一、第6回帝国美術院賞受賞

●本郷美術展(改称)

●春台美術展(改称)

米価暴落し農村不況深刻化

本郷美術展、「春台美術展」と改称

大原美術館開館(倉敷)

伊東 廉ら独立美術協会創立

1931

(昭和6年)

第18回展

(19周年)

2/1～2/19 上野公園 東京府美術館

36 145 537点(特別陳列は含めず)

光風賞_鈴木栄二郎、山下忠平、斎藤 大

- 事務所を東京市外西巢鴨町新田766番地、大野隆徳方に移転
- 本年度よりF氏奨励賞(不動銀行の出資)、K夫人賞(黒田清輝夫人の出資)、船岡賞新設
- 長原孝太郎遺作作品展観として29点と陶器など数点を特別陳列
- この頃入選率は1割程度となる(搬入点数3千数百点)

- 杉浦非水、山形駒太郎を中心として
図案作品が少しずつ増える

満州事変勃発

岡田三郎助ら日本版画協会創立

日本木彫会創立

東京要町にアトリエ村、雀ヶ丘パルテノン誕生(池袋モンパルナス)

1932

(昭和7年)

第19回展

(20周年)

4/17～5/5 上野公園 東京府美術館

31 127 520点(特別陳列、臨時陳列は含めず)

光風賞_益山雅衛、鈴木栄二郎、山下忠平

- 「全国温泉地探勝」(箱根、湯河原、伊豆、伊香保などの温泉地を描いた会員作品)89点を特別陳列
- 「満州上海事変スケッチ」を臨時陳列

- 第12室に「図案装飾」6点を展示

満州国、建国宣言

五・一五事件発生

塊樹社解散

日動画廊発足

熊岡美彦、高間惣七ら東光会創立

1933

(昭和8年)

第20回展

(21周年)

2/2～2/21 上野公園 東京府美術館

38 146 606点(特別陳列は含めず)

光風賞_黒田頼綱、栢 森義、石橋武助

- 事務所を東京市杉並区上荻窪919番地、太田三郎方に移転
- 「大東京風景」(東京各地の名勝などを描いた会員作品)38点を特別陳列
- 評議員制度を新設(就任／中澤弘光、杉浦非水、南 薫造、辻 永、大野隆徳、加藤静児、太田三郎、小寺健吉、中村研一、川合修二、佐分 真、猪熊玄一郎、松下春雄)
- この年より出品目録に「光風会略史」掲載

- 第14室に「図案」7点を展示

日本、国際連盟脱退

生糸暴落、蚕糸恐慌深刻化

白日会10周年記念展で中沢弘光回顧特別陳列

牧野虎雄ら旺玄社創立

サンサシオン解散

1934

(昭和9年)

第21回展

(22周年)

2/11～2/27 上野公園 東京府美術館

48 127 461点(特別陳列は含めず)

光風賞_今村俊夫、河野 通

- 本年度よりローヤル賞新設
- 初の「光風会作品集」が光風会作品集刊行会より刊行
- 故松下春雄遺作64点を特別陳列

4 42点(図案)

- 第10室に「図案室」を新設

- 図案部発足

満州国、帝政を実施し皇帝に溥儀就任

東北地方に冷害、大凶作

長谷川三郎ら新時代洋画展結成

久米桂一郎歿

1935

(昭和10年)

第22回展

(23周年)

2/11～2/27 上野公園 東京府美術館

58 116 634点(特別陳列は含めず)

光風特賞_伊勢正義、脇田 和

- 事務所を東京市杉並区西荻窪町3丁目129番地、太田三郎方に移転
- 本年度より光風特賞、三星賞新設
- 故久米桂一郎遺作81点を特別陳列
- 新たに石川欽一郎、耳野卯三郎、新道 繁、河井清一ら評議員就任
- 藤島武二、岡田三郎助、和田英作、南 薫造、中澤弘光ら7名、新帝国美術院会員(第2部)となる
- 光風会会員会友約60名、帝展改組反対と新帝展不出品を表明
- 旧帝展無鑑査ら有志、第二部会に出品

4 48点(図案)

ドイツ、再軍備宣言

松田文相による帝展改組をめぐり美術界紛糾(帝展の廃止と新帝国美術院の発足)

旺玄社、春台展、太平洋画会、白日会、光風会等所属の洋画家約250名、新帝展反対と不出品を表明

旧帝展無鑑査ら有志は第二部会結成、第1回展開催(東京府美術館)

1936

(昭和11年)

第23回展

(24周年)

4/24～5/10 上野公園 東京府美術館

30 54 342点

光風特賞_脇田 和、伊勢正義

- 本年度よりN夫人賞新設
- 一般からの搬入は4,243点にのぼる
- 新たに三宅克己、小林萬吾、鬼頭鍋三郎、服部亮英、山形駒太郎、大沢海蔵ら評議員就任
- 光風会懇親会を丸の内・マールで開催
- 光風会総会にて新文展の支持を表明
- 猪熊弦一郎、中西利雄、内田 巖、小磯良平、伊勢正義、脇田 和、赤松麟作ら退会

4 32点(図案)

二・二六事件発生

スペイン、内乱発生

第1回改組帝展開催(洋画は除外)

平生文相、再改組と文部省美術展覧会(新文展)開催を発表

第二部会(代表／辻 永、太田三郎)、新文展支持を決定、美術界の混乱収束

新文展反対の猪熊弦一郎、内田 巖、小磯良平ら新制作派協会創立

有島生馬、石井柏亭、安井曾太郎ら一水会創立

1937

(昭和12年)

第24回展

(25周年)

2/10～2/28 上野公園 東京府美術館

44 62 421点

光風特賞_石川滋彦、川端 実

- 本年度よりI氏賞新設、本年度のみキング賞、フローレンス賞新設
- 本年度よりローヤル賞、N夫人賞廃止
- 新たに相馬其一、梶原貫五、上野正之輔、和田 清、安達真太郎ら評議員就任

1938

(昭和13年)

第25回展

(26周年)

2/16～3/6 上野公園 東京府美術館

42 82 461点

光風特賞_須田剋太

- 一般からの搬入は3,724点にのぼる
- 新たに小林鍾吉(鍾吉)、森山 肇、小林真二、和田香苗、朝井閑右衛門、鮫島利久、南 政善ら評議員就任(以降、評議員就任表記略)

1939

(昭和14年)

第26回展

(27周年)

2/19～3/5 上野公園 東京府美術館

42 85 375点

光風特賞_伊藤四郎

- この頃から一人2、3点の出品点数となる
- 会員 岡田三郎助歿

1940

(昭和15年)

第27回展

(28周年)

2/14～3/3 上野公園 東京府美術館

43 80 344点

岡田賞_大沢海蔵

- 本年度より岡田賞(岡田三郎助遺族の提供)新設
- 朝井閑右衛門、南 政善ら、中国へ制作旅行

1941

(昭和16年)

第28回展

(29周年)

2/14～3/1 上野公園 東京府美術館

49 88 285点

岡田賞_遠山 清

3 33点(図案)

- この頃から立体作品が増加する

2 39点(図案、工芸)

3 4 57点(図案、工芸)

光風工芸賞_中橋悦子、遠藤虚籟

- 本年度より光風工芸賞、工芸賞新設

4 2 52点

光風工芸賞_森棟澄子

- 「工芸部」設置
- 「工芸」の名称で統一

1 2 46点

光風工芸賞_河内三郎

- 寺内萬次郎、阿以田治修、佐竹徳次郎、三果会結成、第1回展開催
- 創元会第1回展開催
- 海洋美術会、「大日本海洋美術協会」と改称

パリ万国博覧会開催
廬溝橋事件発生、日中戦争勃発
長谷川三郎ら自由美術家協会創立
大日美術院創立
第二部会解散

第1回新文展開催(東京府美術館)
杉浦非水ら全日本商業美術連盟結成

国家総動員法公布
日本画院創立
寺田政明ら創紀美術協会創立
大日本陸軍従軍画家協会発足

第二次世界大戦勃発
陸軍美術協会発足
神津港人ら緑菴会結成
福沢一郎ら美術文化協会創立
春台美術展、「春台美術会」と組織改変

日独伊三国同盟成立
大政翼賛会発足
荒谷直之介ら水彩連盟創立
自由美術家協会「美術創作協会」と改称
大久保作次郎ら創元会創立
紀元二千六百年奉祝美術展開催(東京府美術館)

ドイツ、ソ連と開戦
太平洋戦争勃発

●春台美術会

1942

(昭和17年)

第29回展

(30周年)

2/14～3/1 上野公園 東京府美術館

35 91 299点

岡田賞_土佐林豊夫

- 事務所を東京市大森区田園調布4丁目216番地、清水良雄方に移転

■岡野 榮_歿

64 45点

光風工芸賞_坂本芙蓉

ミッドウェー海戦敗戦
全日本画家報国会結成
陸軍省派遣画家壮行会開催
第1回大東亜戦争美術展開催

1943

(昭和18年)

第30回展

(31周年)

2/14～2/27 上野公園 東京府美術館

43 87 242点(特別陳列は含めず)

岡田賞_田中実一

- 本年度と次年度のみ加藤賞新設(加藤静児の偉業を記念)
- 「30年記念回顧特別陳列」として白馬会出品作品を中心に58点を特別陳列

46 46点

光風工芸賞_佐藤正巳

- 贅沢品の製造販売禁止の影響で工芸活動が縮小する

イタリア、無条件降伏
第1回学徒出陣
日本美術報国会発足

東京都制施行により、東京府美術館は「東京都美術館」と改称

1944

(昭和19年)

第31回展

(32周年)

3/17～3/30 東京都美術館
(「上野公園」略／以降同様)

招待 31 91 187点

岡田賞_高宮一栄

- 本年度よりレートン賞、K夫人賞、F氏奨励賞、三星賞廃止
- 本年度のみ会員、会友、招待者のみ出品による非公募展となる
- 中澤弘光、南 薫造、帝室技芸員となる
- 寺内萬治郎、研究会「武蔵野会」結成、第1回展開催(銀座 菊屋画廊)(～1955年)

○武蔵野会「寺内萬治郎」

招待 65 28点

連合軍、ノルマンディ上陸作戦開始
東京美術学校、教授陣一新
美術展覧会取扱要綱発表、公募展中止へ
春台美術会解散
公募展中止、美術団体(二科会、旺玄社、彫塑4団体等)解散相次ぐ

1945

(昭和20年)

※開催せず

(33周年)

補／戦争末期、上野公園は高射砲陣地となる

- 美術展覧会取扱要綱により休催する
- 事務所を東京都中野区江古田1丁目237番地、田村一男方に移転

東京大空襲
ドイツ、無条件降伏
広島と長崎に原子爆弾投下
日本、ポツダム宣言受諾、太平洋戦争終結
戦争記録画展開催
日本美術報国会解散
二科会再建
向井潤吉ら行動美術協会創立

1946

(昭和21年)

第32回展

(34周年)

6/19～6/25 日本橋 三越本店

資料不明 総計 139点(※工芸も含む)

- 本年度よりI氏賞廃止
- 本年度のみ会員、会友のみ出品による非公募展となる
- 全会友を会員に推薦
- 会友制度を廃止

■小林鍾吉(鍾吉)_歿

資料不明

日本国憲法公布
第1回日展開催(東京都美術館)
旺玄社改称、旺玄会創立
内田 巖ら日本美術会創立
日本南画院創立

1947

(昭和22年)

第33回展

(35周年)

2/11~2/23

東京都美術館

[巡回展] 名古屋(松坂屋/以降同様)

1948

(昭和23年)

第34回展

(36周年)

3/17~3/30

東京都美術館

[巡回展] 名古屋

1949

(昭和24年)

第35回展

(37周年)

3/16~3/30

東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都(高島屋)

1950

(昭和25年)

第36回展

(38周年)

3/24~4/8

東京都美術館

1951

(昭和26年)

第37回展

(39周年)

4/1~4/16

東京都美術館

[巡回展] 京都(丸物/以降同様)・岡山(天満屋)

236点

岡田賞_幸島重雄

●本年度よりO氏賞新設 ●本年度のみ日本絵具賞新設

●辻 永、帝国美術院会員となる

●朝井閑右衛門、井手宣道、伊藤悌三、川端 実、黒田頼綱、鈴木栄二郎、須田剋太ら、研究会「新樹会」を結成、第1回展開催(日本橋 三越本店)(~1976年)

●第1回美術団体連合展に協賛団体として参加する(99点)

307点

光風特賞_村岡平蔵、小川博史

●本年度よりT夫人賞新設

●名古屋で地方審査を実施(辻 永、中村研一、寺内萬治郎、小絲源太郎)

●朝比奈文雄、小川博史、大沢海蔵、鬼頭鍋三郎、高光一也、田村一男、新道 繁ら、研究会「青季会」を結成、第1回展開催(日本橋 丸善)(~1964年)

●第2回美術団体連合展に協賛団体として参加する(132点)

450点

光風特賞_山口猛彦、村岡平蔵

●第3回美術団体連合展に協賛団体として参加する(110点)

●朝井閑右衛門、須田剋太ら退会

478点

光風特賞_杉村 惇

●本年度より南賞、ドラゴン賞ムーン賞、K氏賞新設

●本年度のみM氏賞新設 ●本年度でO氏賞終了

●第4回美術団体連合展に協賛団体として参加する(107点)

●中村研一、日本芸術院会員となる

●「朋光会」(現/兵庫支部)発足

●光風会美術会館建設資金調達のために会員作品提供による頒布展開催

●「岡山地方連絡所」(現/岡山支部)発足

光風相互賞_新道 繁

●組織改正実施、会友制復活

●機関紙「光風」創刊(創刊号のみで終了)

●本年度よりS賞、プールプ賞新設

●三宅克己、第7回日本芸術院賞恩賜賞受賞

●寺内萬治郎、第7回日本芸術院賞受賞 ●第5回美術団体連合展に協賛団体として参加する(109点)(第5回で終了)

34点

工芸賞_中村俊介

女流画家協会創立

熊谷守一ら第二紀会(二紀会)創立

前衛美術会結成

第1回美術団体連合展開催(東京都美術館)

石川寅治ら示現会創立

帝国芸術院、「日本芸術院」と改称

日本美術会、第1回日本アンデパンダン展開催

32点

光風工芸賞_美輪智一

●本年度のみT夫人賞新設

ベルリン封鎖発生

大韓民国樹立

朝鮮民主主義人民共和国樹立

「美術手帖」創刊

在野洋画七団体、日展不参加声明

日本芸術院賞復活

日展、文部省主催から日本芸術院主催となる

28点

工芸賞_大崎千之

ドッジライン

中華人民共和国成立

法隆寺金堂炎上、壁画焼損

東京芸術大学美術学部発足

牛島憲之ら立軌会創立

日本美術家連盟創立

49点

工芸賞_一噌元治

千円札登場

朝鮮戦争勃発

金閣寺、放火で全焼

「藝術新潮」創刊

山口 薫らモダンアート協会創立

香月泰男、須田剋太ら型生派美術家協会結成

152257点

工芸賞_伊勢瑛子

理事長
中澤弘光

■辻 永
■中村研一
■小絲源太郎
■寺内萬治郎
■耳野卯三郎
■小寺健吉

特需景気始まる

NHK紅白歌合戦始まる

サンフランシスコ平和条約・日米安保条約調印

新制作派協会・創造美術会、新制作協会発足

1952

(昭和27年)

第38回展

(40周年)

4/1～4/16 東京都美術館

[巡回展] 名古屋(愛知県美術館)・大阪・京都・鹿児島(山形屋／以降同様)

1953

(昭和28年)

第39回展

(41周年)

4/1～4/16 東京都美術館

[巡回展] 大阪(大阪市立美術館／以降同様)・京都・鹿児島・岡山・名古屋(松坂屋)

1954

(昭和29年)

第40回展

(42周年)

3/31～4/15 東京都美術館

[巡回展] 大阪・神戸(神戸市立博物館／以降同様)・岡山・高岡(高岡市立美術館／以降同様)

1955

(昭和30年)

第41回展

(43周年)

3/31～4/15 東京都美術館

[巡回展] 名古屋(愛知県美術館／以降同様)・大阪・京都・岡山・富山(富山市郷土博物館／以降同様)

1956

(昭和31年)

第42回展

(44周年)

4/3～4/18 東京都美術館

[巡回展] 高岡・名古屋・大阪・京都・福山(福山市公会堂／以降同様)

理事(会長)
中澤弘光

28 173 693点

光風相互賞_高光一也、大沢海蔵

●光風会美術会館(光風会館)が東京都港区芝新桜田町19番地に建設・完成
(1F/ギャラリー 2F/アトリエ・集会スペース 3F/宿泊施設)

●光風会美術会館(光風会館)に事務所を移す

●「北陸光風会」(現／石川・富山各支部)発足

●この頃には各地方連絡所ができる(名古屋・千葉・京都・長野・九州・東北・北海道)

59 201 691点(特別陳列は含めず)

光風相互賞_杉村 惇

●事務所が田村一男から小寺健吉に引き継がれる

●発起人の中澤弘光、跡見 泰、三宅克己、杉浦非水を名誉会員とする

●光風会美術会館(光風会館)開館1周年記念祝賀会と特別展「希臘と現代美術展覧会」を光風会館で開催

●「光風会々報」「光風会美術会館ニュース」を刊行 ●エジプト・ギリシャ・インド美術品を特別陳列

●本年度のみビニ・ボード賞新設

■跡見 泰_歿

54 199 697点

光風相互賞_井手宣通、鈴木栄二郎

●光風会物故作家遺作展開催(光風会館)

●白馬会を回顧する展開催(光風会館)

●小絲源太郎、第10回日本芸術院賞受賞

●第1回夏期講習会(風景班)開催(以降毎年開催)

●この頃、渡欧者が増える

■三宅克己_歿

74 183 800点

光風賞_國領経郎

●研究会「武蔵野会」解散、寺内萬治郎は門下生と新たに親睦会「与野会」を結成

●本年度よりA氏賞、アリス賞新設

●特別展「フランス現代大作家展」を光風会美術会館で開催
(ブラック、レジェ等の水彩画)

102 216 803点

岡田賞_矢口 洋

●「社団法人光風美術会」が認可される

●第1回「十日会講演会」を光風会館で開催(～昭和37年まで約50回開催)

●鬼頭鍋三郎、第12回日本芸術院賞受賞

●この頃、渡欧者による渡欧作品の出品が増える

●「広島光風会」(現／広島支部)発足

■鬼頭鍋三郎

■山喜多二郎太

926 60点(遺作陳列は含めず)

工芸賞_伊勢珙子、久保駒太郎

●山鹿清華、第8回日本芸術院賞受賞

メーデー事件

「君の名は」放送開始

ブリュストン美術館開館

京都市美術館開館

国立近代美術館開館

1922 84点

光風工芸賞_松風栄一

NHK、テレビ本放送開始

朝鮮戦争休戦協定調印

青美連(青年美術家連合)結成

多摩美術大学発足

日本アブストラクト・アート・クラブ結成

1950年代に抽象絵画全盛

1423 89点

光風工芸賞_米沢 久

マリリン・モンロー来日

ビキニ水爆第5福竜丸被曝事件

神武景气始まる

第1回現代日本美術展開催

マティス歿

具体美術協会創立

第1回無形文化財伝統工芸展開催

718 103点

光風工芸賞_市川芳子

●杉浦非水、第11回日本
芸術院賞恩賜賞受賞

●本年度よりN氏賞新設

宇高航路、紫雲丸沈没

愛知県文化会館美術館開館

新水彩作家協会改称、三軌会創立

金沢美術工芸大学発足

新世紀美術協会創立

鈴木信太郎ら一陽会創立

日本工芸会創立

2023 129点

工芸特賞_伊勢珙子、大樋年郎

●本年度より工芸特賞新設

●三井義夫、第12回日本芸術院賞受賞

日本、国際連合加盟

日本画府結成

シエル美術賞設定

現代工芸協会結成

安井曾太郎記念賞設定

■山鹿清華

■山崎覚太郎

1957

(昭和32年)

第43回展

(45周年)

3/30～4/15 東京都美術館

[巡回展] 富山・京都・大阪・岡山・名古屋

102 202 822点

岡田賞_松本正人

- 事務所の住所が町名変更により東京都港区芝田村町1丁目7番地となる
- 中澤弘光、文化功労者となる
- 光風会秋季会員展開催(日本橋 高島屋)

15²⁹ 150点

工芸特賞_坂本和子、宮入袈裟雄

- 山鹿清華、山崎覚太郎、日本芸術院会員となる

ソ連、人類初の人工衛生打ち上げ成功

なべ底不況始まる

第1回東京国際版画ビエンナーレ展開催

第1回安井賞候補新人展開催

1958

(昭和33年)

第44回展

(46周年)

4/6～4/24 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・高岡・京都・岡山・大阪

90 206 800点

南 賞_辻 朗

- 寺内萬次郎門下生で「与野会」会員の岡田又三郎、金子徳衛、樽松正利、庄司栄吉、藤本東一良、渡辺武夫ら、「北斗会」を結成、第1回展開催(銀座 松屋)(～1964年)

- この頃に城南、池袋の各研究会発足

16²⁵ 157点

工芸特賞_坂本和子、原 稻生

岩戸景気始まる

一万円札登場

東京タワー完成

新槐樹社創立

日展運営会解散、社団法人日展発足

第1回新日展開催(東京都美術館)

日本芸術院会館開館

1959

(昭和34年)

第45回展

(47周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・金沢(大和百貨店／以降同様)・京都(京都市美術館／以降同様)・岡山・広島(天満屋／以降同様)・大阪(高島屋／以降同様)

95 193 763点

光風会員賞_高木春太郎、西田 亨

- 会員 和田英作歿
- 本年度より光風特賞廃止
- 本年度より光風会員賞、光風会友賞、文房堂賞新設
- 小絲源太郎、日本芸術院会員となる
- 辻 永、文化功労者となる
- 光風会茨城支部発足

23³⁶ 144点

工芸特賞_山本正年、浜 達也

- 会員 三井義夫歿

キューバ革命

皇太子殿下と正田美智子嬢の御結婚

マイカー時代始まる

国立西洋美術館開館

石川県立美術館開館

毎日芸術賞設定

1960

(昭和35年)

第46回展

(48周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・大阪・岡山・広島・富山

104 198 858点

光風会員賞_内山 孝

- 寺内萬治郎、日本芸術院会員となる
- 西村愿定、西尾善積、阪倉宜暢、笹鹿 彪、笹岡了一、山喜多二郎、柳瀬俊雄ら、「十柯会」を結成、第1回展開催(日本橋 高島屋)(～1966年)

21³⁸ 167点

工芸会友賞_中野馨一、三橋國民

- 本年度より工芸特賞廃止
- 本年度より工芸会友賞新設

新安保条約調印

三井三池争議起こる

NHKなど各局、カラーテレビ

本放送開始

五島美術館開館

永瀬義郎ら日本版画会(日版会)創立

日本南画院創立

1961

(昭和35年)

第47回展

(49周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 九州特別展・名古屋・京都・大阪・広島・金沢

92 208 872点

光風会員賞_丸山豊一

- 九州特別光風会展を開催(鹿児島展・熊本展・松江展・長崎展・大分展)
- 本年度より桜賞、クサカベ賞新設
- 内田 孝、神戸文子、國領経郎、時田幸彦、西田 亨ら、「六晶会」を結成、第1回展開催(日本橋 白木屋)(～1966年)
- 新道 繁、第17回日本芸術院賞受賞

16³⁹ 175点

光風工芸会友賞_野田晴朗、谷口良三

- 本年度より工芸会友賞廃止
- 本年度より光風工芸会友賞、T氏賞新設

ソ連、人類初の

有人宇宙飛行成功

東ドイツ、ベルリンの壁構築

和田英作遺作展

(日本橋 三越本店)

現代工芸美術家協会創立

サントリー美術館開館

○北斗会「寺内萬治郎」

○十柯会

○六晶会

1962

(昭和37年)

第48回展

(50周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・大阪・広島・高岡

80 217 788点

光風会員賞_浅井光男、寺坂公雄

●耳野卯三郎、第18回日本芸術院賞受賞

1963

(昭和38年)

第49回展

(51周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 大阪・名古屋・京都・金沢・広島・岡山(岡山県総合文化センター／以降同様)

70 238 849点

光風会員賞_守屋千之、岡本由郎

●田村一男、第19回日本芸術院賞受賞

●「神奈川光風会」(現／神奈川支部)発足

●新潟支部発足

1964

(昭和39年)

第50回記念展

(52周年)

4/1～4/19※2期に分けて開催 東京都美術館

[巡回展] 大阪・名古屋・京都・金沢・岡山・熊本(大洋デパート／以降同様)・広島

理事長代理
小寺健吉

61 249 928点

光風会員賞_松本正人、清原啓一、篠崎輝夫

●前期(会員・会友)は10日まで、後期(一般)は11日から19日まで開催(絵画のみ)

●光風会選抜展開催(日本橋 白木屋) ●光風会小品展開催(日本橋 高島屋)

●三尾公三ら退会

■中澤弘光_歿

■寺内萬治郎_歿

1965

(昭和40年)

第51回展

(53周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 大阪(特別展)・名古屋・京都・高岡・広島・岡山

理事長
辻 永

76 253 771点

光風会員賞_寺島龍一

●「光風会だより」創刊、第5号から「光風だより」に改題

●事務所の住所を東京都港区西新橋1丁目4番12号に表示変更

●本年度より中沢賞、寺内賞、ホルベイン賞新設

●この頃からほとんど1人1作品の展示となる

●「島根光風会」(現／島根支部)発足

■山喜多二郎太_歿

■耳野卯三郎_退会

1966

(昭和41年)

第52回展

(54周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢(金沢市立観光会館／以降同様)・岡山・広島・長崎(長崎県立美術博物館／以降同様)・大阪(特別展)

65 258 799点

光風会員賞_内山 孝

●朝比奈文雄、井手宣通、新保兵次郎、桜田精一ら退会

12₃₇ 156点

光風工芸会友賞_岩坪さくら、河本五郎

キューバ危機

スモッグ深刻化

オリンピック景気始まる

第1回現代工芸日美術展開催

(日本橋 高島屋)

16₃₆ 157点

光風工芸会友賞_井伏圭介、中村雅臣

●本年度よりC氏賞、H氏賞新設

新千円札登場

三井三池鉱ガス爆発

ケネディ米大統領暗殺される

岡山県総合文化センター開館

34 57 218点

光風工芸会員賞_堀 友三郎

●本年度より光風工芸会員賞、
S氏賞、I氏賞、クラフト社賞新設

ベトナム戦争勃発

東海道新幹線開業

(東京～大阪間)

オリンピック東京大会開催

日本で「ミロのビーナス」公開

森 芳雄ら主体美術協会創立

26 57 191点

光風工芸会員賞_三橋國民

●光風会工芸部会員展(銀座 松屋)

●本年度よりE氏賞新設

●本年度よりK氏賞廃止

アメリカ軍、北爆開始

いざなぎ景気始まる

黒田清輝生誕百年記念展開催

(ブリヂストン美術館)

■杉浦朝武(非水)_歿

■山崎覚太郎_退会

24 57 201点

光風工芸会員賞_井田躬典

●本年度よりY氏賞廃止

中国文化大革命始まる

全日航機、羽田沖に墜落

日本総人口1億人突破

ビートルズ日本公演

第1回昭和会展開催

川端龍子歿、青龍展解散

山種美術館開館

出光美術館開館

1967

(昭和42年)

第53回展

(55周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 静岡(静岡県民会館／以降同様)・名古屋・京都・富山(富山文化会館)・岡山・鹿児島(鹿児島市立美術館／以降同様)

1968

(昭和43年)

第54回展

(56周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・岡山・金沢・広島(福屋百貨店)・新潟(新潟県民会館／以降同様)・千葉(そごう百貨店／以降同様)

1969

(昭和44年)

第55回記念展

(57周年)

4/2～4/19:東京都美術館

4/2～4/10:日本美術協会 ※2会場に分けて開催

[巡回展] 静岡・名古屋・京都・金沢・岡山・広島(広島県立美術館／以降同様)

1970

(昭和45年)

第56回展

(58周年)

4/2～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・富山(富山県民会館／以降同様)・広島

1971

(昭和46年)

第57回展

(59周年)

4/3～4/19 東京都美術館

[巡回展] 静岡・名古屋・京都・北陸(金沢)・岡山・広島・新潟・長野(長野県信濃美術館／以降同様)

69 252 843点

光風会員賞_三宅次郎

●内山 孝、金石清隆、上島一司、櫻井慶治、新延輝雄、
塗師祥一郎、村田省蔵、三沢 忠、三原捷宏、渡辺啓輔ら退会

●本年度より松田賞新設

江藤純平

大沢海蔵

新道 繁

田村一男

高光一也

中村研一_歿

南 政善

森田元子

58 243 863点

光風会員賞_橋本正躬

●光風会出品者懇親会を上野精養軒で開催

●本年度より中村賞新設

65 243 816点(第1会場)

光風会員賞_佐野隆人

●第2会場は理事、監事、評議員の作品を展示

●本年度、光風会賞は副賞55回記念賞を兼ねる

47 47点(第2会場)

森田元子_歿

70 248 763点

光風会員賞_佐川忠金

●光風会選抜新人小品展開催(銀座 越後屋美術サロン)

●第1回光風会秀作展開催(新宿 三越)(～1983年第14回展)

●本年度より桜賞を「桜花賞」と名称変更

●安達真太郎、小林易夫、西尾善積、武藤完一、柳瀬俊雄ら退会

80 256 810点

光風会員賞_天野文作

●本年度よりマチソン賞新設

●高光一也、第27回日本芸術院賞受賞

●第2回光風会秀作展開催(新宿 三越)

大沢海蔵_歿

小寺健吉_退任

24 56 193点

光風工芸会員賞_竹内真三郎

●本年度よりクラフト社賞を
「クラフト社皮革賞」と名称変更

29 59 190点

光風工芸会員賞_諏訪 修

30 62 192点(第1会場)

18 18点(第2会場)

光風工芸会員賞_遠藤兆映

●般若侑弘、第25回日本

芸術院賞受賞

●山鹿清華、文化功労者となる

●本年度よりM氏賞新設

27 74 211点

光風工芸会員賞_佐野 寛

●本年度よりI氏賞廃止

●海野建夫、第26回日本

芸術院賞受賞

26 71 203点

光風工芸会員賞_辻井賢弼

山鹿清華_退任

初の大気汚染公害訴訟
(四日市ぜんそく)

東京国立近代美術館開館
京都国立近代美術館開館

杉浦非水遺作展開催

(日本橋 三越本店)

北海道立美術館開館

ベトナム、テト攻勢

成田国際空港建設反対デモ激化

全国の大学で紛争発生

GNP、資本主義国第2位

「アート・トップ」創刊

東大安田講堂封鎖解除

東名高速道路全線開通

アポロ11号、

人類初の月踏査

改組第1回日展開催

(東京都美術館)

宮之原 謙

皆川月華

辻 光典

帖佐美行

海野建夫

般若侑弘

京都市立

芸術大学発足

日本万国博覧会(EXPO70)開催

日航よど号ハイジャック事件発生

三島由紀夫、割腹自殺

兵庫県立近代美術館開館

美術ブームにより美術市場拡大

ドルショック発生

列島改造ブーム始まる

ボーリングブーム

寺内萬治郎回顧展開催

(日本橋三越本店)

第1回日本陶芸展開催

1972

(昭和47年)

第58回展

(60周年)

4/3～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・北陸(高岡)・広島・四国(愛媛)(愛媛県立美術館／以降同様)

1973

(昭和48年)

第59回展

(61周年)

4/3～4/19:(第1会場)東京都美術館・(第2会場)上野の森美術館 ※2会場に分けて開催

[巡回展] 名古屋・京都・北陸(金沢)・広島

1974

(昭和49年)

第60回記念展

(62周年)

4/3～4/19:(第1会場)東京都美術館・(第2会場)上野の森美術館 ※2会場に分けて開催

[巡回展] 名古屋・京都・富山・岡山・広島・新潟・福岡(福岡県文化会館美術館／以降同様)・松山

1975

(昭和50年)

第61回展

(63周年)

4/3～4/19 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢・広島

1976

(昭和51年)

第62回展

(64周年)

4/9～4/25 (新)東京都美術館

[巡回展] 静岡・名古屋・京都・富山・広島

77 253 804点

光風会員賞_秋吉 匠

- 本年度よりクサカベ賞廃止
- 本年度より大沢奨励賞、アンカードルマン賞新設
- 第3回光風会秀作展開催(新宿 三越)

■笹岡了一

■藤本東一良

79 261 905点

光風会員賞_福井重男

- 本年度より船岡賞以下6賞を光風奨励賞に組み込み、各スポンサー名を冠した9賞とする(船岡賞、文房堂賞、アンカードルマン賞、松田賞、ホルベイン賞、北辰賞、セイカ賞、マチソン賞、ブルブ賞)

●第4回光風会秀作展開催(新宿 三越)

●伊藤悌三、三橋節子ら退会

78 275 916点(特別陳列は含めず)

第60回記念特別賞_清原啓一、篠崎輝夫、時田幸彦、福井重男、丸山豊一

- 記念室(第7・9室)陳列作品68点／記念資料室(第8室)
- 「第60回記念光風会展覧会記念室作品集」刊行
- 本年度のみ第60回記念特別賞新設
- 本年度より大沢奨励賞を「大沢賞」と名称変更

■辻 永 歿
※光風会葬(青山斎場)

●光風奨励賞にIK賞、東京キャンバス賞追加

●第5回光風会秀作展開催(新宿 三越)

83 292 908点

辻永記念賞_田中実一

- 本年度より辻永記念賞新設
- 光風奨励賞にS彩賞、きむら賞追加
- 第6回光風会秀作展開催(新宿 三越)
- この頃に花小金井研究会発足

30 71 207点

光風工芸会員賞_高池録博、小森十九

冬季オリンピック
札幌大会開催
沖縄の施政権返還、沖縄復帰
連合赤軍浅間山荘事件
具体美術協会解散
上野の森美術館開館
栃木県立美術館開館
美術品投資ブーム過熱

26 77 237点

光風工芸会員賞_川井小由女、氏家 実

- 本年度よりC氏、H氏、M氏、S氏、T氏、Y氏各6賞をすべて新設の光風工芸奨励賞に組み込む

20 91 247点

第60回記念工芸特別賞_遠藤兆映、小川喜数、亀井 勝

- 本年度のみ第60回記念工芸特別賞新設
- 本年度からストック小島賞新設

ウオーターゲート事件発生
田中首相、金脈問題で総辞職
「モナリザ」日本公開
千葉県立美術館開館

25 91 233点

辻永工芸記念賞_河本五郎

- 本年度より辻永工芸記念賞、杉浦非水賞新設

サイゴン陥落、ベトナム戦争終結
東京都美術館新館開館(旧館解体)
棟方志功歿
「月刊美術」創刊

25 92 248点

辻永記念賞_谷口良三

- 本年度より辻永工芸記念賞を「辻永記念賞」、光風工芸会員賞を「光風会員賞」、光風工芸会友賞を「光風会友賞」と名称変更

■南 政善_歿

■村岡平蔵

■山下忠平

■西山真一

■渡辺武夫

■三橋國民

ロッキード事件発生
財団法人安田火災美術財団設立

1977

(昭和52年)

第63回展

(65周年)

4/9～4/24 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢(名鉄丸越百貨店／以降同様)・広島

100 305 895点

辻永記念賞_寺島龍一

●本年度より大沢賞廃止、光風奨励賞に東京フレームクラブ賞追加、S彩賞を「彩美堂賞」、IK賞を「池田美術賞」と名称変更

●新道 繁、日本芸術院会員となる

●第8回光風会秀作展開催(新宿 三越)

●第1回日洋展に新道繁、岡田又三郎、清原啓一、國領経郎、笹岡了一、高光一也、田村一男、寺島龍一ら参加

●岡田又三郎、宮崎 進、岩船修三ら退会

28 90 245点

辻永記念賞_松風栄一

■宮之原 謙_歿

●大須賀 選、土屋杏平ら退会

日航機ハイジャック事件
経済不況深刻化

第1回日洋展開催(日本橋 三越)

アートクラブ解散

第1回具象現代展開催

東京国立近代美術館工芸館開館

1978

(昭和53年)

第64回展

(66周年)

4/7～4/22 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・富山・広島・愛媛

108 313 905点

辻永記念賞_清原啓一

●本年度より小寺賞新設、本年度のみ有馬賞新設

●光風奨励賞の東京フレームクラブ賞廃止、ベルトン賞追加

●第9回光風会秀作展開催(新宿 三越)

●日洋展に関する声明を発表

●國領経郎、杉村 惇、日野耕之祐、角 卓、網島徹夫、渡辺雄彦、小崎隆雄ら退会

26 88 236点

辻永記念賞_鈴木青々

●辻井賢弼、野口晴朗、加納俊治、西本瑛泉、安原喜孝、原 久二ら退会

●日本新工芸家連盟の創立に、帖佐美行、海野建夫ら参加

成田に新東京国際空港開港

第2次石油ショック

現代工芸美術家協会分裂

日本新工芸家連盟創立

1979

(昭和54年)

第65回記念展

(67周年)

4/7～4/22 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢・愛媛・新潟

99 295 874点

第65回光風会特別記念賞_時田幸彦、伊牟田経正、篠崎輝夫

●本年度のみ第65回光風会特別記念賞、第65回光風会会友記念賞新設

●光風会第65回記念展銀座展開催(東京セントラル美術館／絵画84点・工芸38点)

●第10回光風会秀作展開催(新宿 三越)

●高光一也、日本芸術院会員となる

■江藤純平_退任

■鬼頭鍋三郎_退任

25 80 213点

第65回光風会特別記念賞_堀 友三郎

●本年度のみ第65回光風会特別記念賞、第65回光風会会友記念賞新設

●伊東 慶、鵜飼英夫、鈴鹿 雄次郎ら退会

ソ連、アフガニスタンに軍事介入

第1回明日への具象展開催(日本橋 高島屋)

創立第1回日本新工芸展開催

1980

(昭和55年)

第66回展

(68周年)

4/8～4/22 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・富山・広島

理事長
新道 繁

102 295 706点

辻永記念賞_阪倉宜暢

●本年度より文部大臣奨励賞新設

●本年度より光風奨励賞の各スポンサー名を廃止

●第11回光風会秀作展開催(新宿 三越)

●田村一男、日本芸術院会員となる

■辻 朗

■辻村八五郎

29 77 166点

辻永記念賞_飯田美郎

●本年度より文部大臣奨励賞新設

●小川喜数、大久保婦久子、大樋年郎、黒田耕三郎ら退会

■鈴木青々

■山本正年

イラン・イラク戦争勃発

尾道市立美術館開館

1981

(昭和56年)

第67回展

(69周年)

4/8～4/24 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢・愛媛・広島

理事長
田村一男

105 310 882点

辻永記念賞_庄司栄吉

●第12回光風会秀作展開催(新宿 三越)

■新道 繁_歿

31 75 231点

辻永記念賞_清水正次

●井村嘉代子、大畠 久ら退会

神戸ポートピア'81開催

富山県立近代美術館開館

第1回安田火災美術財団奨励賞展開催

1982
(昭和57年)
第68回展
(70周年)

4/9～4/24 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・高岡・広島

110

322

901点

辻永記念賞_小川博史

●事務所・研究所を東京都新宿区高田馬場4-2-31 (瀬古ビル2F) に移転

●新事務所・研究所発足記念パーティー開催

●本年度より新道 繁賞、安田火災美術財団奨励賞新設、小寺賞廃止

●本年度より中沢賞を「中沢弘光賞」、寺内賞を「寺内萬治郎賞」、中村賞を「中村研一賞」と名称変更

●第13回光風会秀作展開催 (新宿 三越)

●名誉会員 鬼頭鍋三郎歿 (光風会葬)

32 73

220点

辻永記念賞_加藤 鈔

●「長野会」(現／長野県工芸部) 発足

ホテルニュージャパン火災
日航機、羽田沖に墜落
東北・上越新幹線開業
熱海 MOA美術館開館
埼玉県立近代美術館開館

1983
(昭和58年)
第69回展
(71周年)

4/9～4/24 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・金沢・松山 (愛媛県立美術館／以降同様) ・広島

109

320

888点

辻永記念賞_清原啓一

●第14回光風会秀作展開催 (新宿 三越)

●本年度より鬼頭鍋三郎賞新設

29 74

235点

辻永記念賞_鈴木青々

ワープロが急速に普及
東京ディズニーランド開園
石川県立美術館開館

1984
(昭和59年)
第70回記念展
(72周年)

4/7～4/22 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・佐賀 (佐賀県立美術館／以降同様) ・広島・金沢 (石川県立美術館／以降同様) ・新潟

108

316

892点

第70回光風会特別記念賞_伊牟田経正、寺坂公雄、山田茂人

●本年度のみ第70回光風会特別記念賞、第70回光風会会員記念賞等新設

●光風会第70回記念銀座展開催 (東京セントラル美術館／絵画60点・工芸36点)

●光風会物語作家追悼法要举行 (上野 寛永寺)

●西山真一、日本芸術院会員となる

32 80

264点

第70回光風会特別記念賞_山崎生士、太田博明

●本年度のみ第70回光風会特別記念賞、第70回光風会会員記念賞等新設

●神成 滯、亀井 勝、川井 (奥田) 小由女、辻 光典、舟越健次郎ら退会

グリコ事件発生
千円、五千円、一万円の新札登場

1985
(昭和60年)
第71回展
(73周年)

4/7～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・松山・広島・高岡

71

328

883点

辻永記念賞_佐川忠金

●渡辺武夫、第41回日本芸術院賞受賞

31 76

259点

辻永記念賞_山内一生

●有山長佑、有山礼石、遠藤兆映、大久保直丸、太田博明、小川欣二、小川泰彦、加藤 鈔、加藤舜陶、神谷英介、河田孝郎、阪野鳳洋、清水正次、城 秀男、鈴木青々、滝川鉦一、山内一生、帖佐美行ら退会

●鈴木青々_退会

●帖佐美行_退会

日航機、御巣鷹山に墜落
第1回具象絵画ビエンナーレ開催

1986
(昭和61年)
第72回展
(74周年)

4/7～4/20 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・広島・金沢

81

330

838点

辻永記念賞_岡崎勇次

●高光一也_歿
※合同葬 (金沢市 東別院)

●山下忠平_退任

●小川博史

●樽松正利

●阪倉宣暢

16 44

197点

杉浦非水賞_佐久間啓介

●本年度より辻永記念賞廃止

●河本五郎、宮尾正隆ら退会

●山本正年_歿

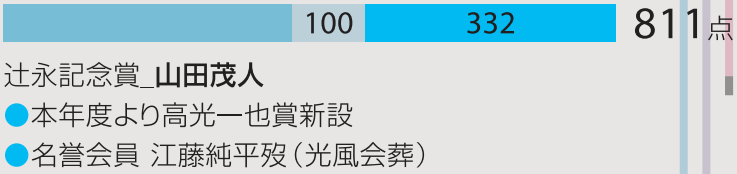
●松風栄一

●堀 友三郎

ソ連、チェルノブイリ原発事故発生
伊豆大島三原山大噴火
平成バブル景気始まる
世田谷美術館開館

1987
(昭和62年)
第73回展
(75周年)

4/7～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・西宮 (西宮市民ギャラリー／以降同様)・金沢・広島



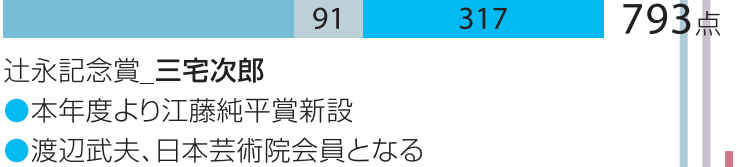
■笹岡了一_歿
※合同葬
(流山市民文化会館)



■皆川月華_歿
国鉄分割民営化、JR7社発足
土地投機による狂乱地価発生
東京藝術大学創立100周年記念展開催
(日本橋 三越)
井手宣通ら日洋会創立

1988
(昭和63年)
第74回展
(76周年)

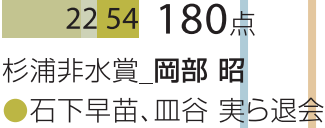
4/7～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・松山・広島・富山



■清原啓一

■寺坂公雄

■時田幸彦
■西田 亨

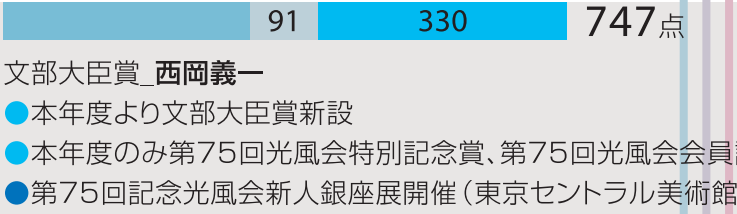


■中野晃嗣

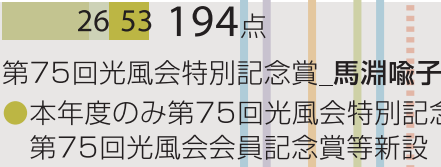
瀬戸大橋開通
リクルート事件発生
岡山県立美術館開館
名古屋市美術館開館
高松市美術館開館
茨城県近代美術館開館
ふくやま美術館開館
第1回サントリー美術館大賞展開催

1989
(昭和64年・平成元年)
第75回記念展
(77周年)

4/7～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・金沢・新潟・広島



■西山真一_歿 ※光風会葬



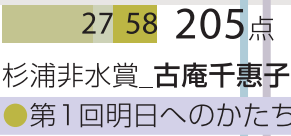
昭和天皇崩御
「平成」と改元
中国、天安門事件
横浜美術館開館
広島市現代美術館開館
中村研一記念美術館開館

1990
(平成2年)
第76回展
(78周年)

4/7～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・西宮・高岡・広島



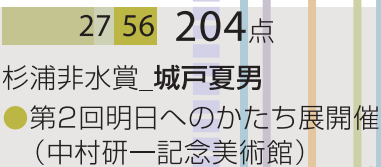
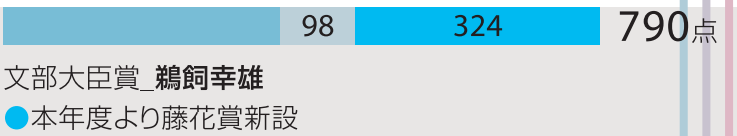
■黒田頼綱



統一ドイツ誕生
第1回具象絵画ビエンナーレ開催
水戸芸術館開館

1991
(平成3年)
第77回展
(79周年)

4/7～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・金沢・広島



■松風栄一_歿

湾岸戦争勃発
ソ連邦解体
バブル経済崩壊
京都造形芸術大学開校
猪熊弦一郎現代美術館開館

1992

(平成4年)

第78回展

(80周年)

4/7～4/21

東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島

101

312

769点

文部大臣賞_浅井光男

●田村一男、文化功労者となる

●「茨城光風会(絵画部)」(現／茨城支部)発足

27

54

191点

杉浦非水賞_深沢範子

●第3回明日へのかたち展開催

(中村研一記念美術館)

篠崎輝夫

藤本 肇

佐川献金疑惑発生

PKOでカンボジアに自衛隊派遣

愛知芸術文化センター開館

1993

(平成5年)

第79回展

(81周年)

4/7～4/21

東京都美術館

[巡回展] 名古屋(愛知芸術文化センター[愛知県美術館ギャラリー]／以降同様)・京都・金沢・広島(福屋百貨店／以降同様)

105

311

761点

文部大臣賞_円地信二

●藤本東一良、第49回日本芸術院賞恩賜賞受賞、日本芸術院会員となる

●高光寂生ら退会

24

58

191点

杉浦非水賞_堀口泰三郎

●第4回明日へのかたち展開催

(中村研一記念美術館)

林 美光、原 構成ら退会

サッカーJリーグ開幕

皇太子御成婚

非自民連立内閣発足(細川首相)

平成不況

新潟県立近代美術館開館

中村研一記念美術館開館

1994

(平成6年)

第80回記念展

(82周年)

4/7～4/21

東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島・岡山・新潟(新潟県民ギャラリー／以降同様)

109

307

740点

文部大臣賞_渡辺 晋

●本年度のみ第80回光風会特別記念賞、第80回光風会会員記念賞等新設

●第80回記念光風会新人銀座展開催(東京セントラル美術館／絵画69点・工芸20点)

●「光風会史 -80回の歩み-」(光風会史編纂委員会編集)刊行

25

58

195点

第80回光風会特別記念賞_片岡宏幹

●本年度のみ第80回光風会特別記念賞、第80回光風会

会員記念賞等新設

●第5回明日へのかたち展開催(京都文化博物館・中村

研一記念美術館・飯田市立美術館)

岩田久利_歿

関西国際空港開港

高岡市美術館開館

1995

(平成7年)

第81回展

(83周年)

4/7～4/21

東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢・広島・宇都宮(栃木県総合文化センター／以降同様)

112

302

750点

文部大臣賞_杉山吉伸

21

61

190点

杉浦非水賞_丹下健三

●第6回明日へのかたち展開催

(京都文化博物館)

村岡平蔵_歿

由井躬典

阪神・淡路大震災

東京地下鉄サリン殺人事件

オウム真理教に一斉捜査

Windows95発売

千葉市美術館開館

東京都現代美術館開館

1996

(平成8年)

第82回展

(84周年)

4/7～4/21

東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島・富山(富山県民会館美術館／以降同様)

107

311

745点

文部大臣賞_鵜飼幸雄

21

59

196点

杉浦非水賞_和泉 清

●第7回明日へのかたち展開催

(京都文化博物館)

岡部 昭

O-157集団食中毒多発

ペルー日本大使館公邸人質事件発生

広島県立美術館開館

1997

(平成9年)

第83回展

(85周年)

4/7～4/20 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・金沢・宇都宮(東武宇都宮百貨店／以降同様)・広島(広島県立美術館／以降同様)

理事長
渡邊武夫

文部大臣賞_桐野江節雄

●寺島龍一、第53回日本芸術院賞恩賜賞受賞

105 309 746点

1998

(平成10年)

第84回展

(86周年)

4/7～4/21 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・高岡・広島

理事長
寺島龍一

文部大臣賞_天野丈作

●本年度より田村一男賞新設、つばき賞廃止

●寺島龍一、日本芸術院会員となる

106 315 740点

1999

(平成11年)

第85回記念展

(87周年)

4/6～4/21 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島・岡山・金沢・新潟(新潟市美術館／以降同様)

文部大臣賞_佐川忠金

●本年度のみ第85回光風会特別記念賞、第85回光風会会員記念賞等新設

●本年度より中沢、寺内、中村、新道、鬼頭、高光、江藤、西山各賞(各名前略)、藤花賞廃止

●本年度より田村一男賞を「田村一男記念賞」と名称変更

●第85回記念光風会新鋭選抜展開催(東京セントラル美術館／絵画68点・工芸20点)

●「第85回記念 光風会目録集」刊行

109 315 789点

2000

(平成12年)

第86回展

(88周年)

4/6～4/21 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・広島・京都・宇都宮

辻永記念賞_酒井英安

●名誉理事長職設置、渡邊(渡辺)武夫就任

●本年度より文部大臣賞廃止

●庄司栄吉、第56回日本芸術院賞恩賜賞受賞、
日本芸術院会員となる

108 308 757点

2001

(平成13年)

第87回展

(89周年)

4/6～4/21 東京都美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島・金沢

理事長
庄司栄吉

文部科学大臣賞_竹久秀樹

●本年度より文部科学大臣賞新設

※2001年の中央省庁再編に伴い名称変更

●新光風会館落成式举行

●事務所・研究所を東京都豊島区要町1-3-4 光風会館に移転

●桐生照子、安元亮祐ら退会

107 321 769点

■田村一男_歿
※光風会葬

■阪倉宣暢_歿

■藤本東一良_歿

■黒田頼綱_歿

■田中 実

■伊牟田経正

■庄司栄吉_退任

■小川博史_退任

■樽松正利_退任

■辻 朗_退任

■辻村八五郎_退任

■渡邊(渡辺)武夫_退任

■庄司栄吉_再任

■渡辺 晋

■寺島龍一_歿

1963 205点

杉浦非水賞_三井淑枝

●第8回明日へのかたち展開催
(京都文化博物館)

消費税5%に引き上げ
神戸児童連続殺傷事件発生
長野新幹線開業
金融機関破綻相次ぐ

1766 200点

杉浦非水賞_中谷あつ子

●第9回明日へのかたち展開催
(京都文化博物館)

米アップル社、iMac発売
神戸淡路鳴門自動車道開通
長野市で冬季オリンピック大会開催
愛媛県美術館開館

1866 195点

第85回光風会特別記念賞_今井ひさ子

●本年度のみ第85回光風会特別記念賞、第85回光風会
会員記念賞等新設

●本年度より杉浦非水賞を「杉浦非水記念賞」と名称変更

●第10回明日へのかたち展開催
(京都文化博物館)

瀬戸内しまなみ海道開通
島根県立美術館開館

2272 205点

文部大臣賞_福田三恵子

●第11回明日へのかたち展開催
(京都文化博物館)

●本年度のみ文部大臣賞新設

古庵千恵子
介護保険制度スタート
BSデジタル放送開始
都営地下鉄大江戸線全線開通
二千年札登場

■中野晃嗣_退任

■藤本 肇_退任

2163 198点

杉浦非水記念賞_桂川幸助

●第12回明日へのかたち展開催
(京都文化博物館)

●由井躬典ら退会

■由井躬典_退会

実習船えひめ丸沈没事件
USJ、東京ディズニーシー開園
アメリカ同時多発テロ発生
Suica登場
群馬県立館林美術館開館

2002

(平成14年)

第88回展

(90周年)

4/6～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・富山・広島

106 329 760点

文部科学大臣賞_長谷川 仩

- 清原啓一、第58回日本芸術院賞恩賜賞受賞、日本芸術院会員となる
- 光風会ウェブサイト開設

■浅井光男
■円地信二
■金山桂子
■佐川忠金

25 69 212点

杉浦非水記念賞_佐伯道子

- 第13回明日へのかたち展開催(京都文化博物館)
- 本年度より光風工芸特別賞新設
- 初の日朝首脳会談
- 拉致被害者5名帰国
- 北韓共催W杯サッカー開催
- 兵庫県立美術館開館

■西田 亨_退任

■三橋國民_退任

■桂川幸助
■丹下健三

2003

(平成15年)

第89回展

(91周年)

4/6～4/20 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・金沢・広島

99 316 767点

文部科学大臣賞_松本 昇

- 本年度より安田火災美術財団奨励賞を「損保ジャパン美術財団奨励賞」と名称変更
- 第1回爽光会展開催(日本橋 三越、大阪 三越)
- 名誉理事長 渡邊(渡辺) 武夫歿(光風会葬)

29 65 192点

杉浦非水記念賞_佐藤紀子

- 第14回明日へのかたち展開催(京都文化博物館)
- スペースシャトル「コロンビア」空中爆発
- 米英によるイラク戦争勃発
- 地上デジタル放送開始
- 森美術館開館

2004

(平成16年)

第90回記念展

(92周年)

4/6～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・広島・新潟・宇都宮

98 320 750点

文部科学大臣賞_桑原富一

- 本年度のみ第90回記念光風会特別記念賞、第90回記念光風会会員記念賞等新設
- 第2回爽光会展開催(日本橋 三越、松山 三越)
- 時田幸彦、鈴木淑江、三浦 泉ら退会

■藤森兼明

33 67 204点

第90回記念光風会特別記念賞_川瀬和子

- 本年度のみ第90回記念光風会特別記念賞、第90回記念光風会会員記念賞等新設
- 第15回明日へのかたち展開催(京都文化博物館)
- 新一万、五千、千円札登場
- 冬ソナブーム
- 金沢21世紀美術館開館
- 地中美術館開館

■時田幸彦_退会

2005

(平成17年)

第91回展

(93周年)

4/6～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・広島・金沢

110 321 730点

文部科学大臣賞_遠藤原三

- 第3回爽光会展開催(日本橋 三越)
- 寺坂公雄、第61回日本芸術院賞受賞、日本芸術院会員となる

■田中 実_退任

30 67 200点

杉浦非水記念賞_中村矢一

- 第16回明日へのかたち展開催(京都文化博物館)
- 全国で市町村合併相次ぐ
- 愛知万博開催
- JR福知山線脱線事故発生
- 耐震強度偽造問題発覚
- 長崎県美術館開館

■篠崎輝夫_歿

■堀 友三郎_退任

■堀口泰三郎
■小岩 繁

2006

(平成18年)

第92回展

(94周年)

4/6～4/21 東京都美術館
[巡回展] 名古屋・京都・広島・高岡

119 327 769点

文部科学大臣賞_北田和広

■円地信二_退任

31 73 198点

杉浦非水記念賞_今井ひさ子

- 第17回明日へのかたち展開催(京都文化博物館)
- 平成18年豪雪
- 北朝鮮、テポドン2号発射
- 日本、高齢者割合世界一
- 国内で絵画盗作疑惑発生
- 中村研一記念美術館改称、はけの森美術館開館

■小岩 繁_歿

2007

(平成19年)

第93回展

(95周年)

4/18～4/30 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島

126 324 878点

文部科学大臣賞_河内文夫

- 本年度のみ光風会懇親会を東京全日空ホテルで開催
- ドキュメンタリー映画「メモリーズ・オブ・セレベス～洋画家・庄司 栄吉の太平洋戦争～」テレビ放送

■杉山吉伸

39 71 216点

杉浦非水記念賞_南 和伸

- 第18回明日へのかたち展開催 (京都文化博物館)

年金記録問題発覚
日本郵政グループ4社発足
携帯・PHSが1億台突破
PASMO登場
沖縄県立博物館・美術館開館
国立新美術館開館

2008

(平成20年)

第94回展

(96周年)

4/16～4/29 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島

143 328 898点

文部科学大臣賞_町田博文

- 耀展開催 (日本橋 三越)
- 藤森兼明、第64回日本芸術院賞受賞、日本芸術院会員となる

- 本年度より評議員による作品研究会を実施
- 光風会ウェブサイトリニューアル

■浅井光男_退任

■佐川忠金_退任

■池山阿有

■佐々木寅夫_歿

■佐々木寅夫

■高橋規矩治郎

■根岸右司

■長谷川 仍

■福島隆壽

■松本 昇

39 73 209点

杉浦非水記念賞_長戸端子 ■羽二生隆宏

- 第19回明日へのかたち展開催 (京都文化博物館)
- 本年度より光風会特別賞廃止

秋葉原歩行者天国で無差別殺傷事件発生
日本でスマートフォンiphone3G発売
リーマン・ショック発生

■岡部 昭_退任

2009

(平成21年)

第95回記念展

(97周年)

4/15～4/27 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・広島・岡山・金沢・新潟・宇都宮・京都

134 336 922点

文部科学大臣賞_大谷喜男

- 会長職設置、庄司栄吉就任
- 本年度のみ第95回記念光風会展特別記念賞、ミノルカ賞等新設
- 第1回光耀展開催 (日本橋 三越)

- 本年度より外部有識者による講演会を実施

- 本年度より外部有識者によるギャラリートークを実施

■北田和広

■西山松生

■根岸秀雄

44 77 201点

第95回記念光風会展特別記念賞_和泉 清

- 本年度のみ第95回記念光風会展特別記念賞、第95回記念光風会展会員記念賞等新設
- 第20回明日へのかたち展開催 (京都文化博物館)

■松本 昇_歿

裁判員制度始まる
新型インフルエンザ世界的大流行

2010

(平成22年)

第96回展

(98周年)

4/14～4/26 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島

141 323 939点

文部科学大臣賞_西房浩二

- 第2回光耀展開催 (日本橋 三越)

32 67 177点

杉浦非水記念賞_安田真紀子

- 第21回明日へのかたち展開催 (京都文化博物館)
- 堀口泰三郎、須藤淑子ら退会

探査機はやぶさ、地球に帰還
チリで鉱山落盤事故発生、全員救出成功
尖閣諸島衝突事件発生
ホキ美術館開館

■堀口泰三郎_退会

2011

(平成23年)

第97回展

(99周年)

4/13～4/25 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島・金沢

132 348 934点

文部科学大臣賞_石田宗之

- 第3回光耀展開催 (日本橋 三越)
- 東日本大震災の被災地に義援金

■北田和広_歿

■清水 優

32 62 149点

杉浦非水記念賞_崎長 史

- 第22回明日へのかたち展開催 (京都文化博物館)

東日本大震災発生
津波により北陸沿岸に甚大な被害
福島第一原発事故
放射能汚染発生
「なでしこジャパン」初優勝 (サッカー女子W杯大会)
リビアのカダフィ大佐死亡
北朝鮮、金正日総書記死去

2012

(平成24年)

第98回展

(100周年)

4/18～4/30 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・広島・京都・富山



2013

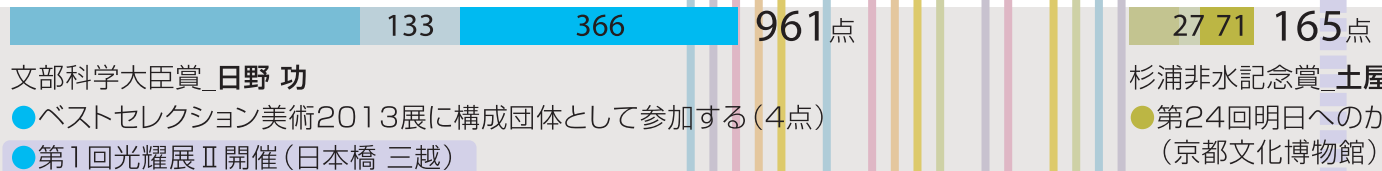
(平成25年)

第99回展

(101周年)

4/17～4/29 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・京都・広島・金沢



2014

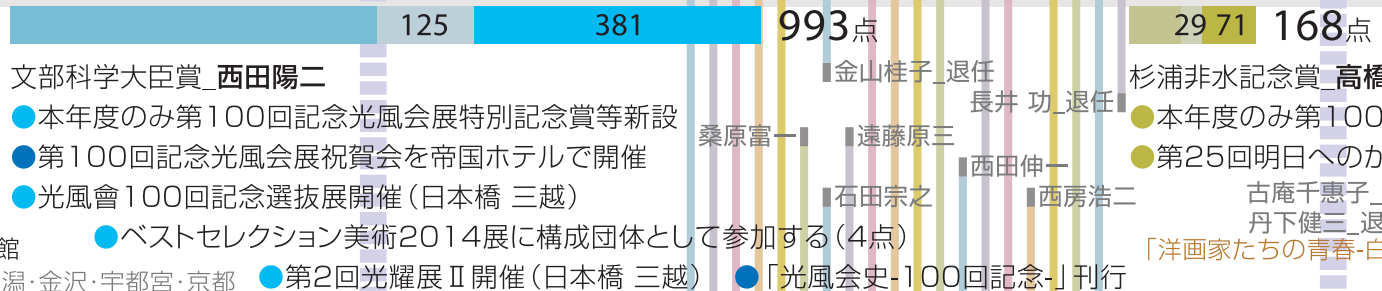
(平成26年)

第100回記念展

(102周年)

4/16～4/29 国立新美術館

[巡回展] 名古屋・広島・岡山・新潟・金沢・宇都宮・京都



凡例

1965
(昭和40年)
第51回展
(53周年)

4/2~4/19 東京都美術館
[巡回展] 大阪(特別展)・名古屋・京都・高岡・広島・岡山

理事長
辻 永

- 光風会員賞 寺島龍一
- 「光風会だより」創刊、第5号から「光風だより」に改題
 - 事務所の住所を東京都港区西新橋1丁目4番12号に表示変更
 - 本年度より中沢賞、寺内賞、ホルベイン賞新設
 - この頃からほとんど1人1作品の展示となる

[絵画]

- 光風会全体に関わる事項
- 絵画部に関わる事項

会友作品
展示総点数
会員作品
展示総点数

展示作品総点数

76 253 771点

[工芸]

理事以上の役職在位期間・創立会員の在年期間

会友作品
展示総点数
会員作品
展示総点数

展示作品総点数

26 57 191点

光風工芸会員賞 三橋國民

- 光風会工芸部会員展(銀座 松屋)
- 本年度よりE氏賞新設
- 本年度よりK氏賞廃止

黒田清輝生誕百年記念展開催
(ブリヂストン美術館)

アメリカ軍、北爆開始
いざなぎ景気始まる

杉浦朝武(非水) 歿
山崎覚太郎 退会

山喜多二郎太 歿
耳野卯三郎 退会

各研究会の活動期間

- 工芸部に関わる事項

青色は創立会員

赤色は日本芸術院会員

該当情勢の継続期間(2色)

美術の動向

社会の出来事

理事長の在位期間